

研究活動紹介

中央大学文学部
心理学専攻 教授
高瀬 堅吉



全体概要

主な研究活動
(実績紹介)

研究領域

メンタルヘルスにまつわる内的・外的要因を網羅的に研究し、疾病予防や健康増進に寄与する仕組みを提唱しています

メンタルヘルスを維持するために考慮すべき要素(※) と特に注目している 이슈ー

Cope

日々のストレスに対処する

孤立・孤独

痛み

Connect

コミュニティに参加・貢献できる

シチズンサイエンス

シチズンプラクティス

Thrive

自身の能力に気づく

性差

遺伝子

Function

良く学び良く働く


脳内メカニズム

環境調整

主たる研究活動

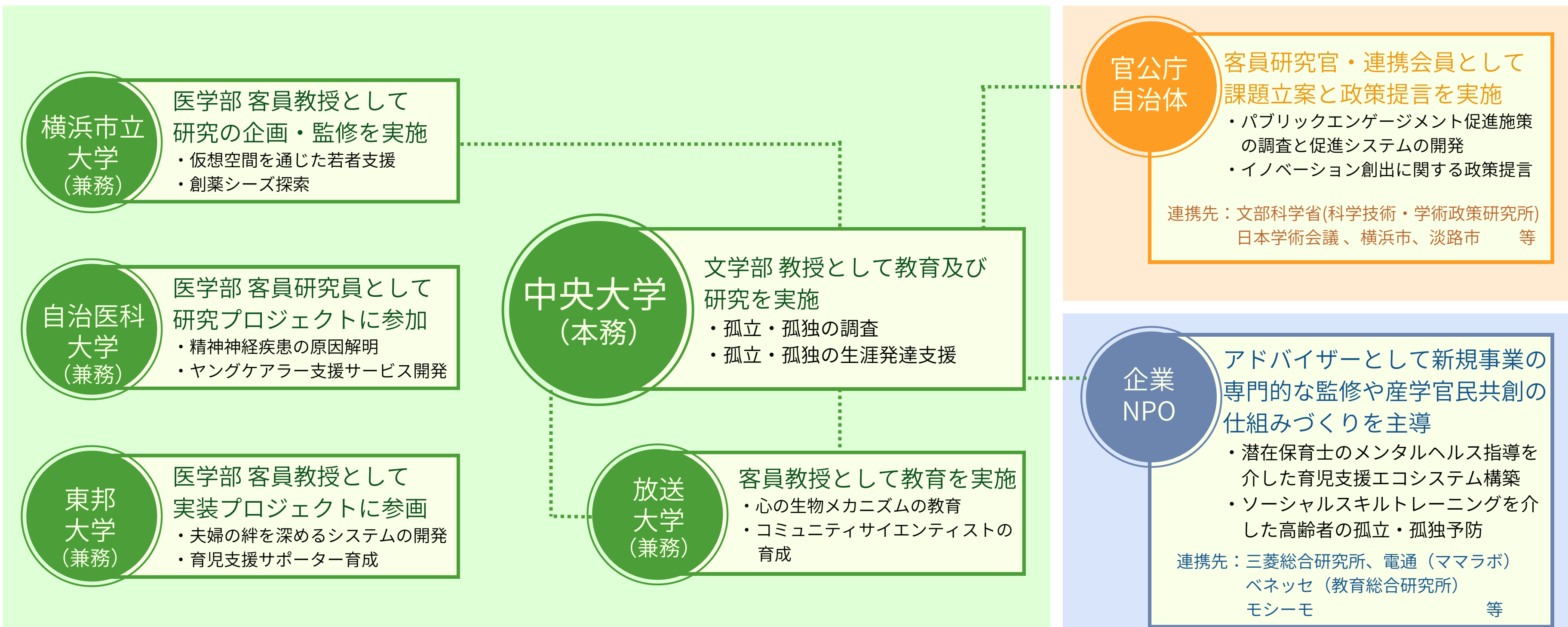
※プロジェクト詳細は後段で紹介しております

メンタルヘルスやジェンダーギャップにかかるメカニズム解明とエコシステム構築に関するプロジェクトを複数実施しています

	基礎研究	臨床応用	人材育成	課題解消 政策提言
1 ”個性”と心身の健康の 関係性についての理解 	✓	✓		
2 患者と時代の変化にあった メンタルケアシステムの構築 	✓	✓	✓	
3 共創性心理学の 社会応用 			✓	✓

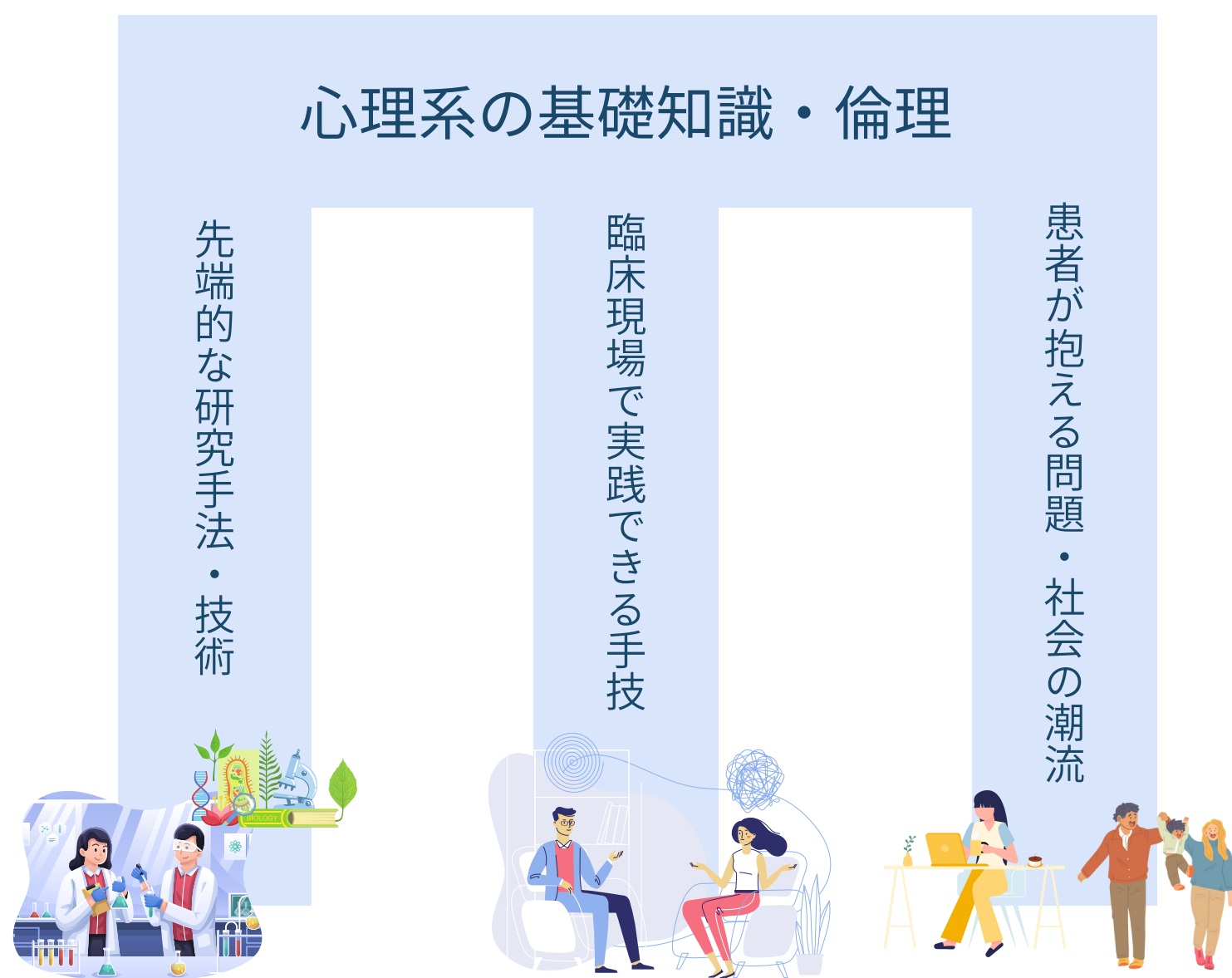
研究推進ネットワーク

本務である中央大学および兼務で関わっている研究機関でのポジション及びネットワークを介して、幅広い分野のプロジェクトを同時並行ですすめています



心理職の多面的教育による新領域創出

基礎科学から臨床医学まで網羅的に把握しているユニークな立ち位置を生かして、心理系専門職に複合的な視点を提供し、活躍できる新しい領域を常に検討しています



多面的な資質を持った専門職（π型人材）の輩出

講義

2022年10月時点

- 発達心理学（中央大学）
- 教育心理学（中央大学）
- 神経・生理心理学（放送大学）
- 生理学（横浜市立大学）

書籍

一部抜粋（共著含む）

- 心理学検定 公式問題集：「神経・生理領域」
- 現代心理学辞典：RNA・核酸・Gタンパク質・染色体・タンパク質
- 健康心理学事典：第2章 生理学的メカニズム（発達・加齢）
- 応用心理学ハンドブック
- 神経・生理心理学
- 看護を学ぶ人のための心理学：学習心理学
- 心理職のための身につけておきたい生物学の基礎知識
- トランスジェニック・ノックアウトマウスの行動解析
- 〈自閉症学〉のすすめ：オーティズム・スタディーズの時代
- AIと共生する人間とテクノロジーのゆくえ



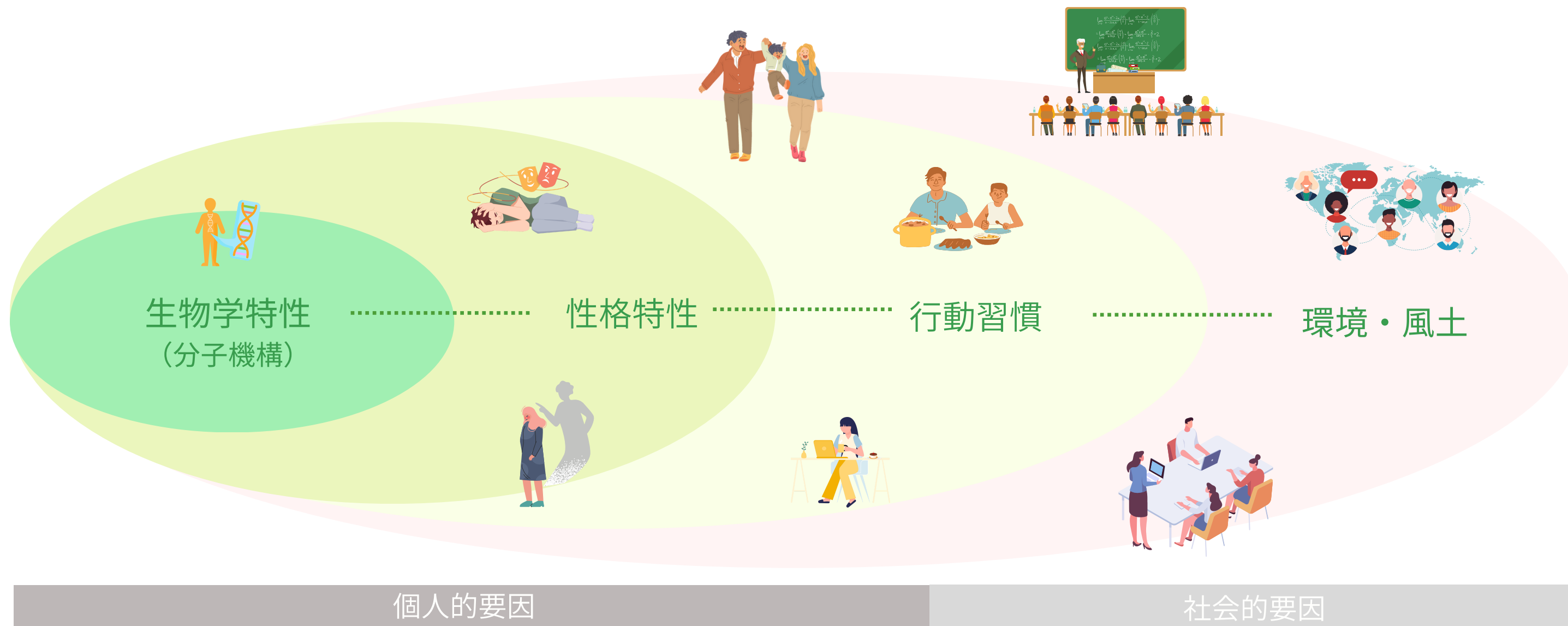
”個性”と心身の健康 の関係性についての 理解

長期に及ぶ家庭と職場のプレッシャーやトラウマ的な出来事によるストレスなどで、女性はとくに精神疾患や生活習慣病などの慢性疾患のリスクが高まるといわれています。環境や働き方によって多角化するこの問題に対して、個人の内的要因、社会システムの双方から予防策を検討しています。



”個性”と心身の健康の関係

こころの健康は、個人的要因と社会的要因、その双方から影響を受ける要因からなる個人の個性に多くの影響を受けます。個性に合わせたライフスタイルやストレス対処等の提案を目指しています



精神神経疾患（うつ病、認知症等）および生活習慣病（糖尿病、肥満等）に影響

エビデンス：ストレス受容の個体差

ストレスに対する社会行動や対処と個人の遺伝学的特性や脳神経の構造特性、対応するストレスとの関係性を精査し、より良い健康増進施策の検討に応用しています

遺伝学的・生物学的特性



ストレス
ホルモン感受性

空間把握能力



性ホルモン
血中濃度差

※性差を事例に記載

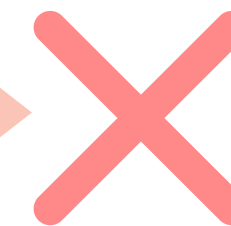
日常の刺激（ストレス）

生活習慣（摂食、睡眠／覚醒等）
社会行動（対人、業務適性）

環境適応 > 個人特性 + ストレスの強さ

健康維持

環境適応 < 個人特性



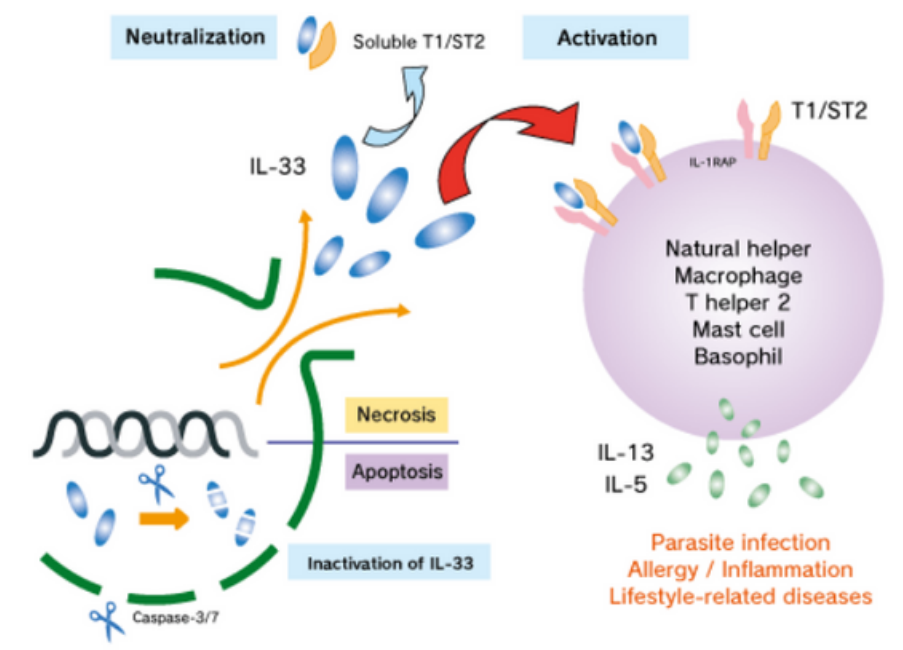
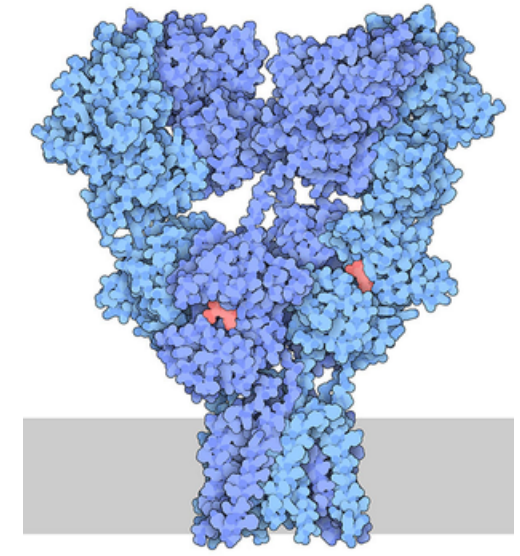
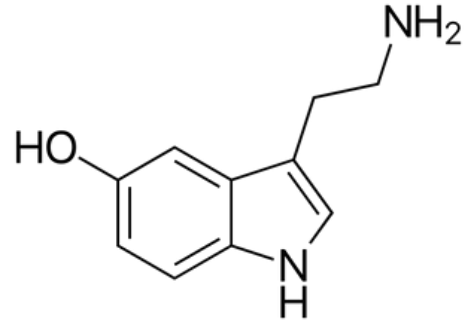
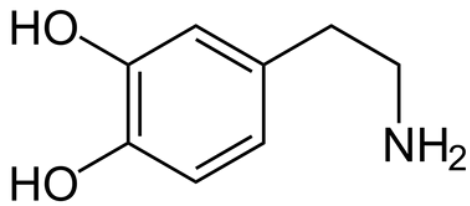
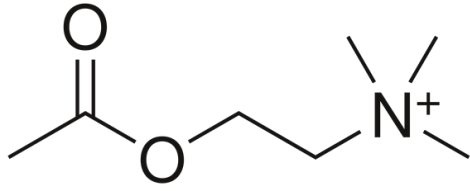
適応不可

（精神疾患・生活習慣病のリスク増）

行動解析による精神疾患の分子機構解明

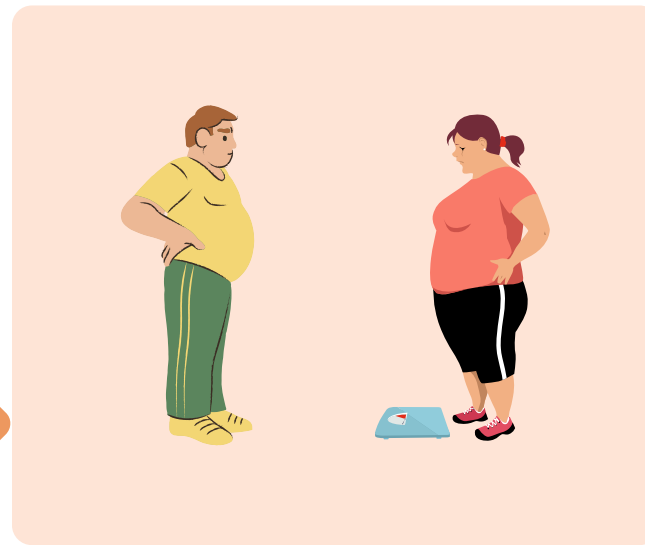
医師との協働で、治療ニーズの高い疾病の分子機構と行動の関係を分析し、診断・治療・カウンセリング等に役立てています

精神症状	キーとなる分子/メカニズム
気分障害 (mood disorder)	成長刺激発現遺伝子2タンパク質 (ST2) 健常者より血中濃度が高い
孤立・孤独ストレス (pain from loneliness)	AMPA型グルタミン酸受容体 (AMPA) 健常者より前頭前野での発現量が低い
統合失調症 (schizophrenia)	カルシニューリン (CN) コラプシン反応媒介タンパク質 (CRMP) 健常者より海馬での発現量が低い
学習能力障害 (learning disability)	アセチルコリン (ACh)、ドーパミン (DAT)、 セロトニン (5-HT) 健常者より海馬または扁桃体での分泌量が低い



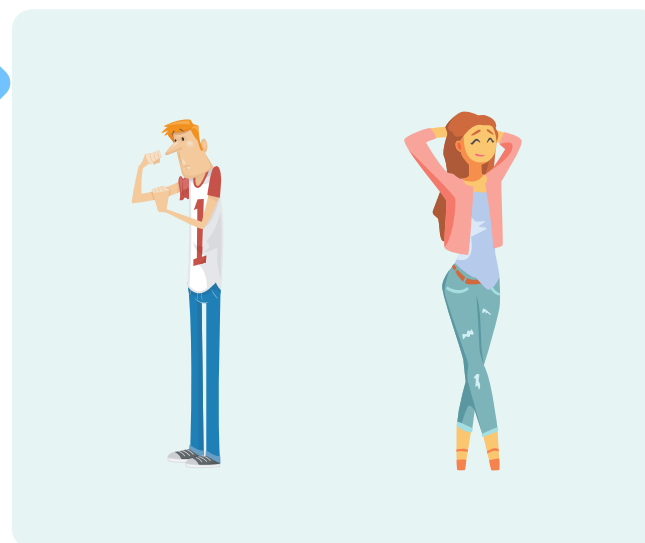
エビデンス：食習慣と行動・感覚等の変化

モデル動物（マウス）を用いた研究で高脂肪食摂取そのものが、肥満とは独立して感覚や行動に影響する傾向を見出し、メンタルケアにおける食事指導の重要性を示唆した。



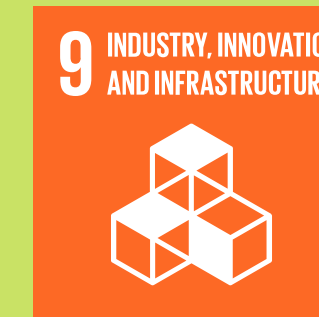
【高脂肪食摂取＋肥満】で見られた傾向

- 嗅覚障害
- 報酬に関する行動の変化
(エタノール/シヨ糖嗜好性の鈍化)
- 社会行動の亢進
- 運動協調機能の低下
- 機械的刺激に対する反応性低下



【高脂肪食摂取】で見られた傾向

- 嗅覚障害
- 報酬に関する行動の変化
(エタノール嗜好性の鈍化)
- 社会行動の亢進



患者と時代の変化にあつたメンタルケアシステムの構築

ポストコロナによる場や機会の分断により、オンラインによるコミュニケーションが増えることによって、デジタルネイティブが中心となる次世代に合う未来のカウンセリングを実現させるための調査と社会システム構築を推進しています。



現場と先端技術を融合したメンタルケア

基礎科学から臨床医学まで網羅的に把握しているユニークな立ち位置を生かして、心理系専門職に複合的な視点を提供し、活躍できる新しい領域を常に検討しています

臨床現場における潮流



遠隔による
専門職・患者の
コミュニケーション



ネットでの
医薬品・健康
商品の販売

産業・技術トレンド



SNSによる
カジュアルな
コミュニティ



高度ICT技術を用いた新たな
体験提供

研究紹介（次世代メンタルケア）

時代・次世代にあった持続的なシステムの実現

事例：“ニューロダイバーシティ”を推進する市民啓発

市民、患者（当事者）、専門家（心理学者、法学者等）のフラットな対話をオンライン等で設計し、メンタルヘルスやその対処法に対する本質的な理解や共通理解を促す取り組みを実施しています

自閉症患者および家族

患者特性

- 複数の状況で社会的コミュニケーションおよび対人的相互反応における持続的欠陥がある
- 行動、興味、または活動の限定された反復的な様式が2つ以上ある

周辺課題

- 個人によって症状や対処方法が異なり、医師や当事者（家族）の多様な意見が有用である



オンラインでの特性

- アバターやチャットの利用によりコミュニケーション障害が軽減
- オンライン空間で快適な環境を構築可能

適切なコミュニケーションの要件

“ニューロダイバーシティ”

自閉症を障害ではなくひとつの“個性”、ひとつの“知性”のありかたとして捉え、患者および関わる専門家、家族に寄り添った関わりの機会を設計・提供

事例：自閉症学超会議！



研究紹介（次世代メンタルケア）

事例：メタバースを用いたメンタルケア

仮想空間に若者・専門職・ソリューションを開発する企業を繋いだエコシステムを創る



研究紹介 (次世代メンタルケア)



共創性心理学の 社会応用

心理学が解決できる問題は多く、超高齢社会やグローバル
コモングの保持など未来の課題を解決する新しい社会シス
テムの社会実装に、心理系の専門性が活きると考えていま
す。



心理学が産業・社会の課題解決に寄与する

新しいシステムを社会実装するには、人の心理に寄り添い、新しい仕組みを実装する最適な理想像を市民と共に構築することが効果的です

AI・IoT利用促進
クラウドコンピューティング
情報セキュリティ管理
デジタルツイン推進
ビッグデータ活用
仮想アシスタント利用

定型・非定型発達への理解
動機づけ技法の活用
学習・記憶力の仕組みを把握
子育て親サポート
教育効果の測定
集団行動への介入

産業

福祉

介護者のストレスマネジメント
福祉サービスニーズの定量的把握
自治体の福祉事業の効果測定
認知症への理解
バリアフリーデザイン
障害者雇用促進

教育

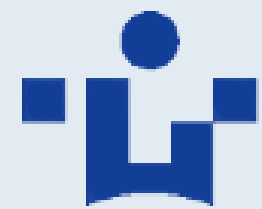
国際

異分野コミュニケーション
多文化適応
言語・非言語コミュニケーション
多様な価値観への対処
留学・海外就労者へのサポート
(国内/国外)



事例：社会課題調査への応用

市民の心理にフラットに寄り添う認定心理士（シチズンサイコロジスト）を育成し、社会課題の理解や市民啓発等を推進しています



公益社団法人 **日本心理学会**
The Japanese Psychological Association

心理学が関係する
新たな社会課題の
解決策等に係る
ナレッジ提供



企業・官公庁等

現状に関するインサイト
(データ) の蓄積・共有



共創性心理学に関する教育

シチズンサイコロジストの育成

心理職コミュニティへの調査課題提供



70,000名
(2022年8月)

講演会・ワークショップ・勉強会等を
介した現状分析と市民啓発



今後の予定：生涯発達支援

幅広い対象者の孤独や悩み・迷いに寄り添い、個人のポテンシャルを引き出し、サイエンスとソーシャルの両面から人生に伴走するための仕組みを検討しています



若者

(思春期以降)

レジリエンス獲得
プログラム
慢性ストレスケア



養育者

育児サポート
プログラム
抑うつ・不安ケア



高齢者

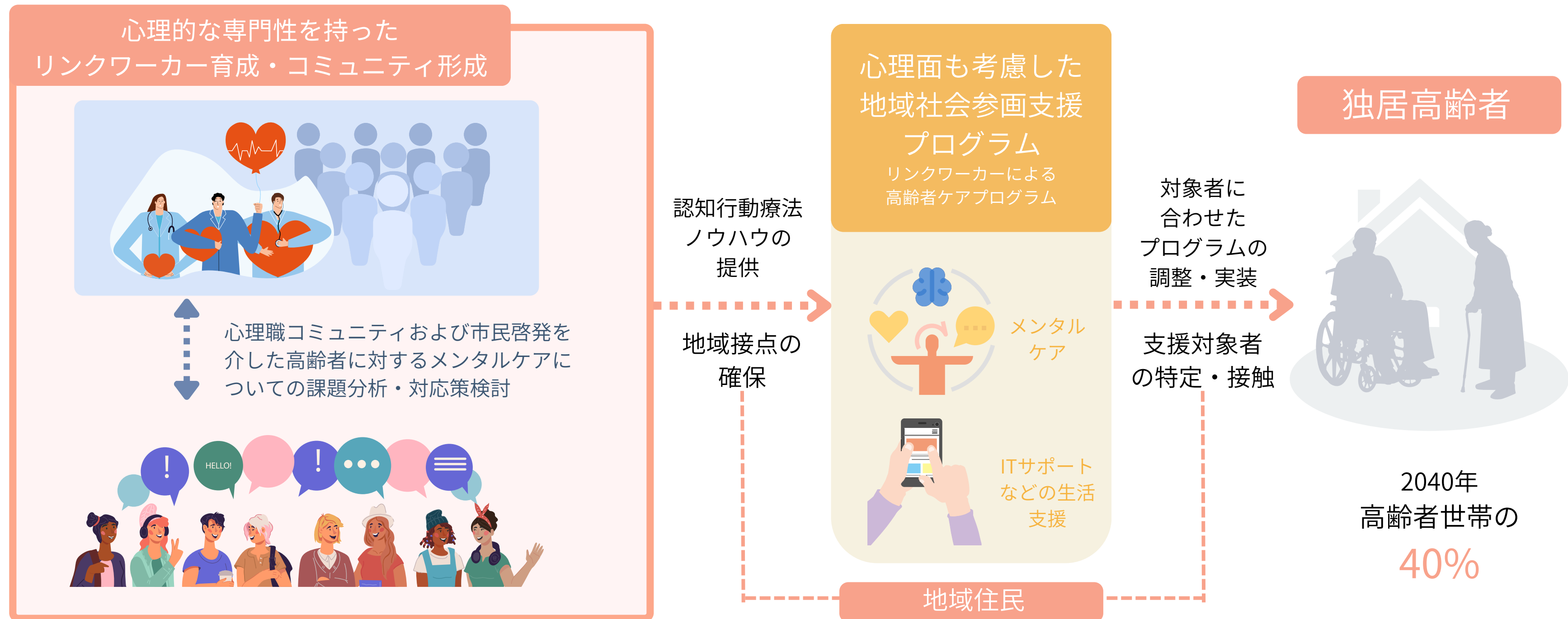
フレイル予防
プログラム
孤独・認知症ケア

ライフ
コース

心理教育
ケア+α

事例①：独居高齢者の社会参画支援

地域から孤立しがちな高齢者は、コミュニティや人とのかかわり方に関する意識を変え、地域やコミュニティに参加できるような働きかけを行うことが重要となります。心理職コミュニティを生かしたリンクワーカーネットワークの構築を検討しています

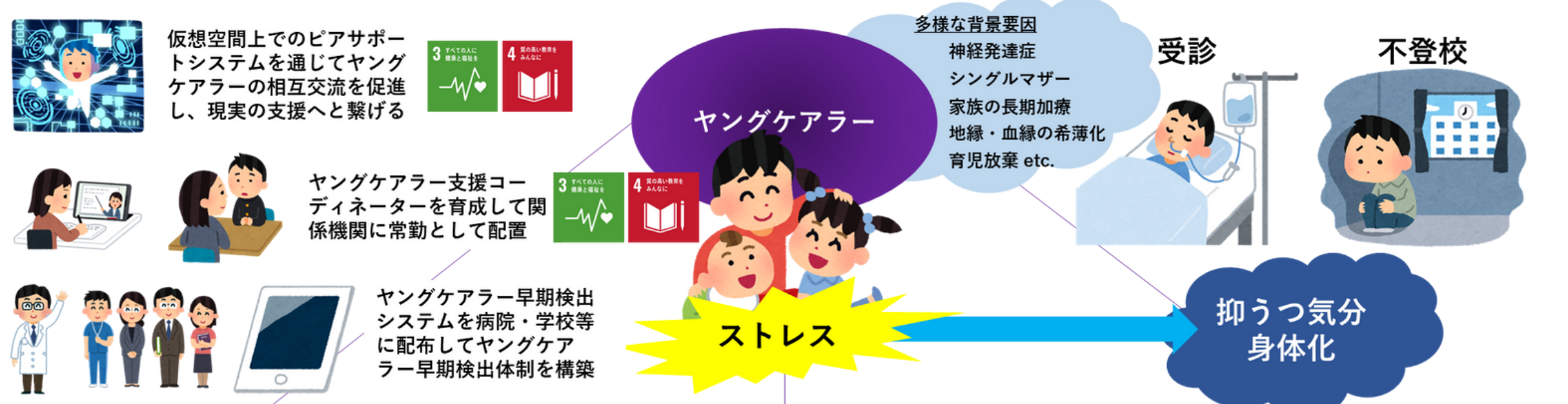


事例②：ヤングケアラーの包括的支援

地方自治体および地域中核病院の医師等と連携し、家族（高齢者・障害者等）の介護によって通常の生活を送りづらい若年層の活躍を応援する仕組みづくりを始めています

医療と福祉を必要とするヤングケアラーゼロ社会のシナリオ創出
—子どもの保健 2.0—

ヤングケアラーの早期発見・早期対応を目指した多職種・自治体との連携による家族支援・家族相談



<p>課題1 ヤングケアラー同士の交流の場がなく、社会から隔離された状態に置かれている</p> <p>ソリューション1 ピアサポートシステムの実装・介入効果の検証</p> <p>シーズ1 ヤングケアラーが仮想空間上で相互交流する場を設定し、支援者・当事者との交流が現実でも可能となるピアサポートシステムを社会実装する。</p>	<p>課題2 ヤングケアラーに対する専門の支援者がおらず、現行の支援も手薄である</p> <p>ソリューション2 ヤングケアラー支援コーディネーターの育成</p> <p>シーズ2 オンデマンドによる研究講座を配信し、ヤングケアラー支援コーディネーターを育成。同講座を通じて当事者性＝専門性であることも広く周知する。</p>	<p>課題3 ヤングケアラーであることが自分・家族・周囲の大人に認知されない</p> <p>ソリューション3 ヤングケアラー早期検出システムの開発</p> <p>シーズ3 ヤングケアラーに関するガイドライン・測定尺度を標準化して統合指標を用いて、早期発見を可能にするアプリにする。当事者性＝専門性も合わせて可視化する。</p>
--	--	--

自治医科大学附属病院
とちぎ子ども医療センター

国際医療福祉大学病院

栃木県

保健福祉課	教育委員会 総務課
障害福祉課	義務教育課
こども政策課	特別支援教育室

栃木県ケアラー支援に関する有識者等意見交換会

NPOや地域団体等

認定NPO法人 カタリバ	NPO法人 えじそんくらぶ
一般社団法人 えんがお	フリースクール アップルバウム

ヤングケアラーを支える地域エコシステム（案）

ヤングケアラーは、定義が曖昧であり、医療介入も一部関係することから、当事者の実質的な負担と支援のミスマッチが起こりやすいといわれています。介護負担の軽重と質を分析し介入基準とガイドラインを明確にすることで、対策の効果を高めることを期待しています



所属（現在）

2022年4月 - 現在

中央大学 文学部 人文社会学科 心理学専攻／文学研究科 心理学専攻 教授

2022年4月 - 現在

自治医科大学 医学部 自然史学研究室 客員研究員（兼務）

2021年4月 - 現在

放送大学 客員教授（兼務）

2021年4月 - 現在

東邦大学 医学部 医学科 解剖学講座 微細形態学分野 客員教授（兼務）

2020年12月 - 現在

文部科学省科学技術・学術政策研究所 客員研究官（兼務）

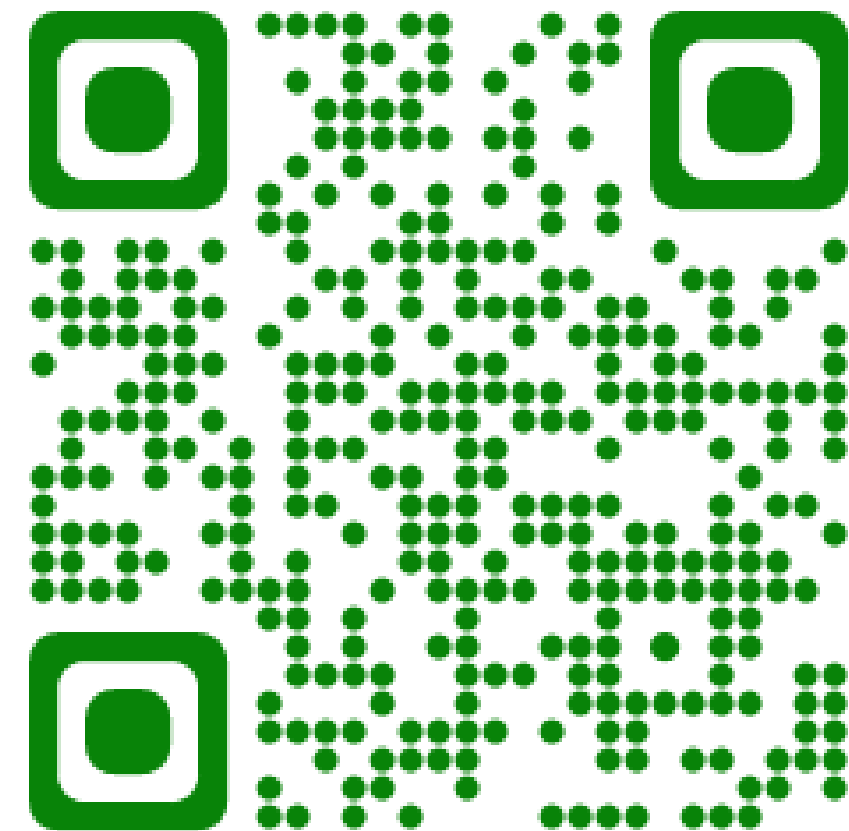
2015年3月 - 現在

公立大学法人 横浜市立大学 医学部 医学科 麻醉科学教室 客員教授（兼務）

2012年4月 - 現在

横浜市立大学 医学部 医学科 非常勤講師（兼務）

▶researchmap



中央大学 文学部心理学専攻 高瀬研究室

〒192-0393 東京都八王子市東中野 7 4 2 - 1



042-674-3845



ktakase782@g.chuo-u.ac.jp

https://psy.r.chuo-u.ac.jp/?page_id=64